

大江戸線延伸の早期着工に向けた取組

① 大江戸線延伸促進期成同盟による取組

区民・区議会・区で大江戸線延伸促進期成同盟を組織し、要請活動や啓発活動などの促進活動に取り組んでいます。



↑ 東京都への要請活動(平成29年1月)



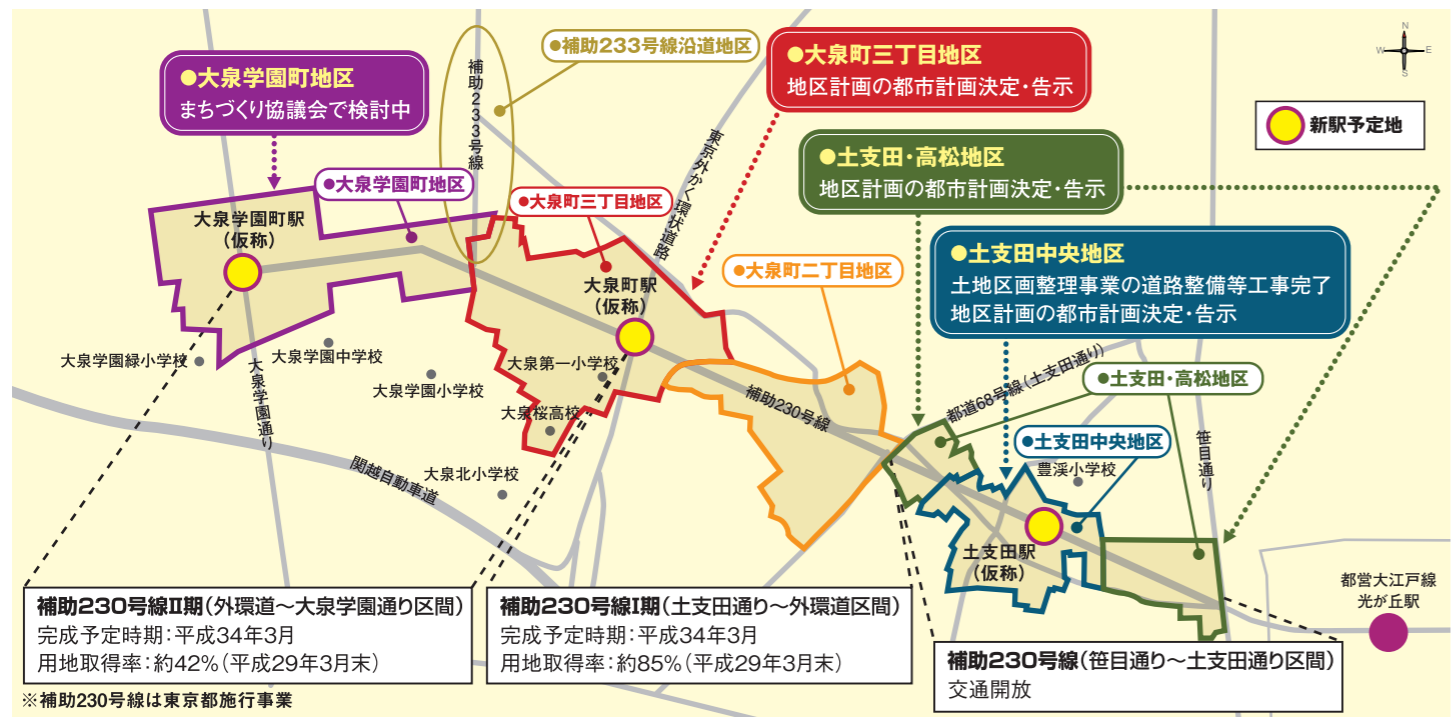
↑ 延伸促進大会の様子(平成28年10月)

『大江戸線延伸促進期成同盟概要』

設立	昭和63年
構成	延伸地域の30町会、区議会、区
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・国や都への要請活動 ・延伸促進大会の開催 ・広報紙・啓発品の作成および配布 ・各種イベントでの啓発活動(練馬まつり、地区祭など)

② 新駅予定地周辺等のまちづくり

区では、大江戸線の延伸を見据えた新駅予定地周辺のまちづくりを進めています。導入空間である都市計画道路補助230号線の沿道のまちづくりも一体的に行っています。



③ 事業予定者である東京都との協議

早期着工を目指して、事業予定者である東京都と区で精力的に話し合いを行っています。

④ 大江戸線延伸推進基金の積立

区の役割を担うために、大江戸線延伸推進基金を積み立て、効果的に活用していきます。

大江戸線延伸の早期着工に向けて精力的に取り組んでいます!
ご理解・ご協力をお願いいたします

大江戸線延伸ニュース

第17号

平成29年10月発行

発行:大江戸線延伸促進期成同盟
 練馬区大江戸線延伸推進課
 【電話】03-5984-1564 【FAX】03-5984-1226



【大江戸線の延伸計画】

『大江戸線の延伸』は、現在光が丘駅まで整備されている都営地下鉄大江戸線が、土支田・大泉町・大泉学園町地域を通り、JR武蔵野線東所沢駅方面へ延伸する計画です。このうち、練馬区内では、都市計画道路補助230号線を導入空間として、土支田駅(仮称)、大泉町駅(仮称)、大泉学園町駅(仮称)、の3つの新駅を整備する予定です。

※延伸計画に関する詳細は次ページ以降を参照。



【大江戸線延伸ニュースとは】

大江戸線延伸に関する取組や進捗状況等をお知らせするため、年1～2回発行しています。

最新情報!

大江戸線延伸の実現に向けて区一丸となって取り組みます!
～区内各団体と期成同盟が延伸実現に向けた取組を協議～

8月30日(水) 区内経済・産業団体、町会等と大江戸線延伸促進期成同盟(期成同盟の取組は、P4 ①参照)は「大江戸線延伸推進会議」を開催し、共に東京都などの関係機関に早期着工を要請することや、整備効果などを広く周知することを決めました。

【参加団体の主なコメント】

- 地域の発展・経済の発展に非常に重要な事業だ。東京都など関係機関への要請活動も共に行う。
- 我々の団体本部に対し、国や都へ事業着手について要望するように働きかけていく。
- 区民だけでなく事業者にとっても非常に関心が高い事業である。



↑ 会議の様子

【大江戸線延伸推進会議の参加団体】

大江戸線延伸促進期成同盟	(一社)練馬産業連合会	東京商工会議所練馬支部
練馬区商店街連合会	(公社)練馬東法人会	(公社)練馬西法人会
東京あおば農業協同組合	練馬区町会連合会	光が丘地区連合協議会

【今後連携して実施する取組】

- ① 広報・啓発活動
フォーラムの開催(下記参照)・周知協力
- ② 関係機関への働きかけ
関係機関への要請活動、各団体の本部組織や関係団体への働きかけ

区内団体と期成同盟によるフォーラム開催のお知らせ

11/16
開催
 18:30～

内容 ①【報告】大江戸線延伸の現状・区の取組
 ②【講演】鉄道整備がもたらす効果とは
会場 練馬区役所地下多目的会議室

参加費 無料 10月中旬周知開始!
 ※区報・区HP等で周知する予定です

主催 大江戸線延伸促進期成同盟、(一社)練馬産業連合会、東京商工会議所練馬支部、練馬区商店街連合会、大江戸線延伸推進会議、(公社)練馬東法人会、(公社)練馬西法人会、東京あおば農業協同組合、練馬区町会連合会、光が丘地区連合協議会

大江戸線延伸の現状(都と国の位置づけ)

大江戸線の延伸(光が丘~大泉学園町)については、都と国において整備について明確な位置づけを得ています。

○東京都「広域交通ネットワーク計画について」*(平成27年7月)

「整備について優先的に検討すべき」5路線の一つに位置付けています。

※東京都が、今後の都内における鉄道整備のあり方等について調査・検討し、取りまとめたものです。

○交通政策審議会答申*(平成28年4月)

鉄道ネットワークの充実に資する24のプロジェクトのなかでも、「進めるべき」とする6つのプロジェクトの一つとして高く評価しています。

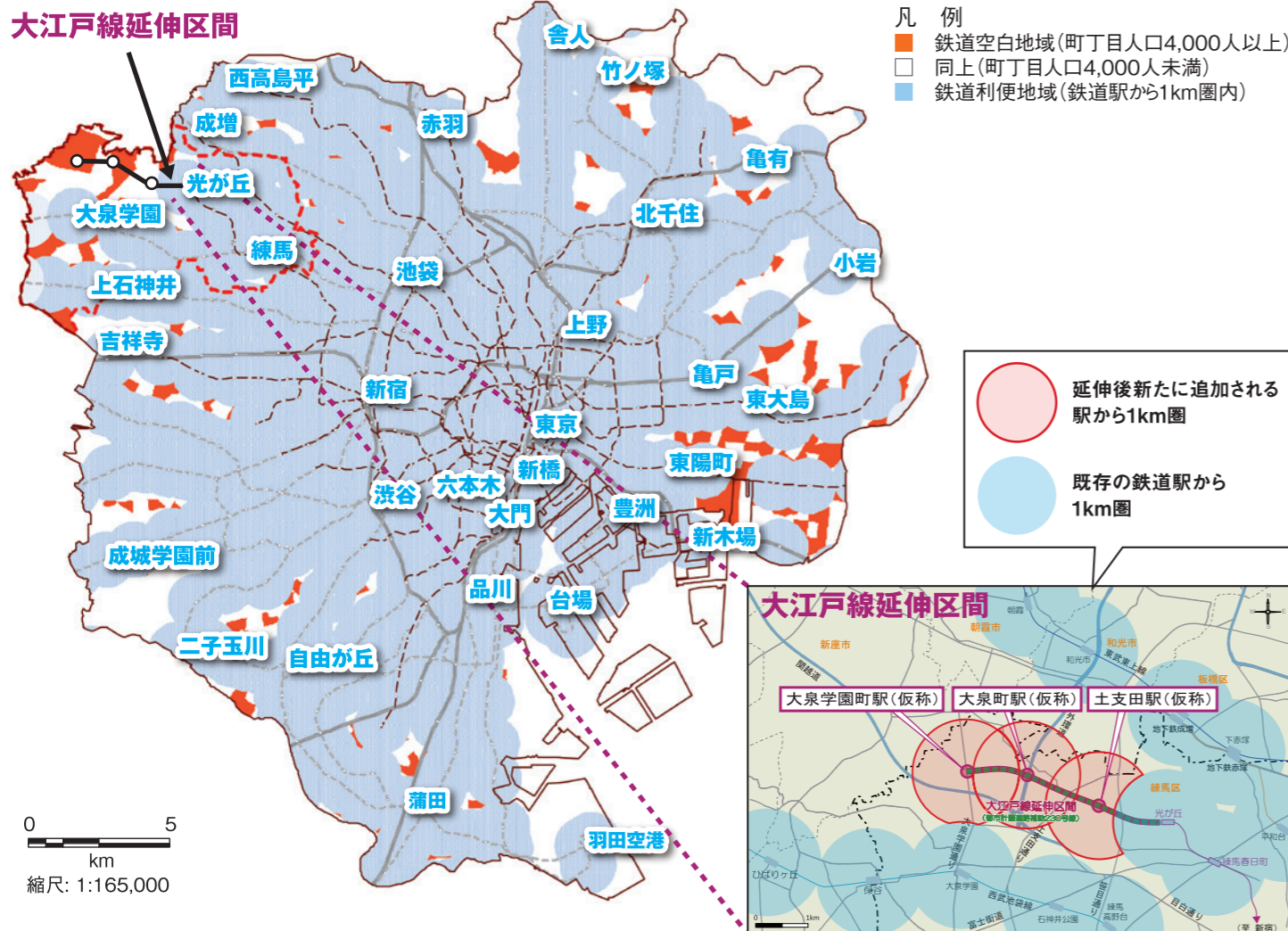
※国の諮問機関である交通政策審議会が概ね15年に1回、今後の都市鉄道のあり方について審議し、とりまとめるものです。鉄道施策は、この答申の考え方を基本に進められます。

大江戸線延伸の整備効果

① 鉄道空白地域の改善

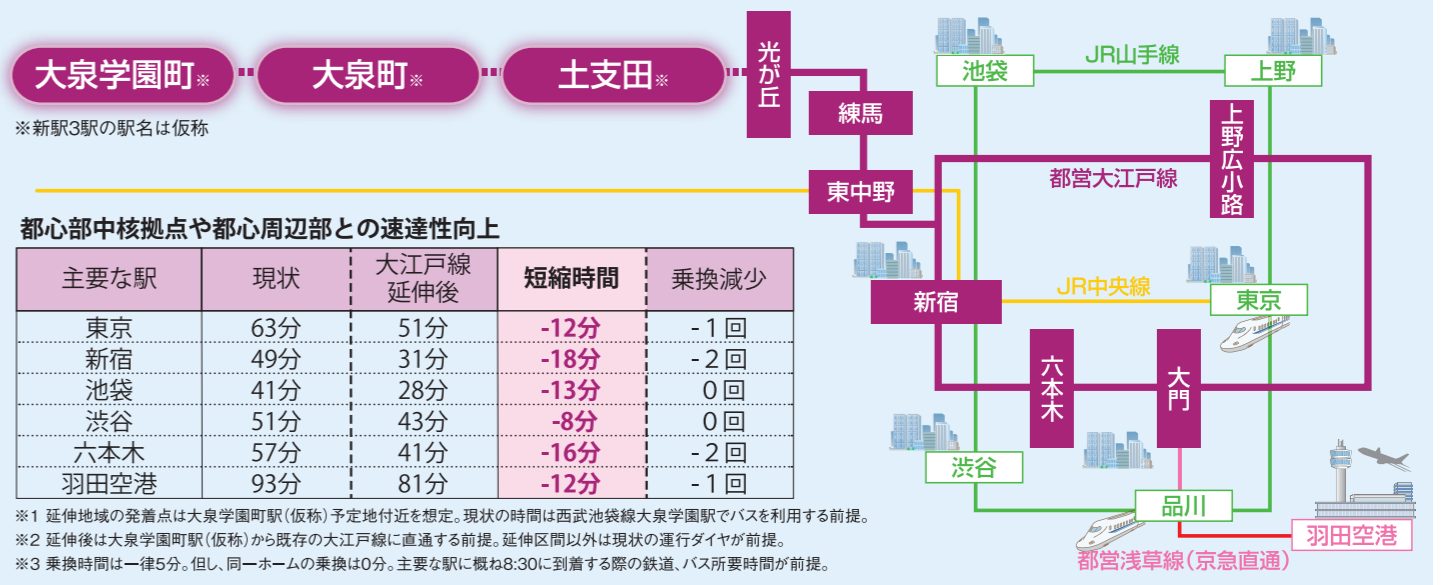
・東京23区には、鉄道駅から1km以上離れた地域がわずかに残っています。大江戸線の延伸は、区内のこうした地域を大きく改善する路線です。

鉄道空白地域と夜間人口図 出所：H27国勢調査



② 東京圏の鉄道ネットワークの強化および最適化

- ・大江戸線は、都内の主要な拠点をつなぐ鉄道網であり、東京圏の鉄道ネットワークにおいて重要な機能を担っています。大江戸線の延伸は、こうした機能をさらに高めることにつながります。
- ・都心部と延伸地域との移動時間が短くなります。
- ・周辺他路線(西武池袋線など)の電車内や駅構内の混雑が緩和されます。



③ その他の効果

○暮らしが快適になります

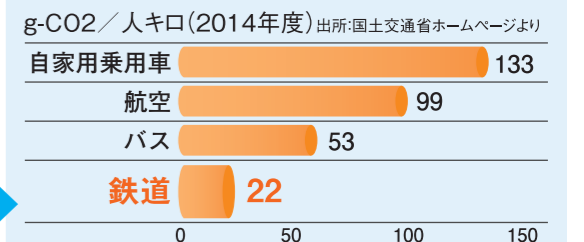
- ・新駅周辺では、生活に便利なお店やサービス施設などの立地が期待でき、新たなヒトやモノの往来や交流による様々な波及効果がうまれます。
- ・延伸地域にある豊かなみどりがより身近になり、楽しむことができます。



○地域交通の改善と地球環境への影響緩和

- ・鉄道利用が増えることにより、自家用乗用車などの利用が減り、道路交通の混雑緩和が期待できるほか、CO2排出量の減少につながります。

交通機関別CO2排出量の比較
 1人を運ぶ際のCO2排出量(出所:国土交通省)



○災害時の緊急利用

- ・東日本大震災の発災時に全鉄道路線のうち運転再開が最も早かったのが大江戸線です。今後の発災時における近隣路線の代替経路としても期待ができます。